

みんなで行こう！ 札幌市民の「冬のルール」

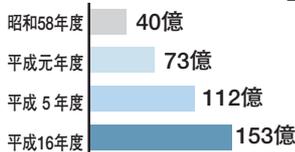
年間の平均降雪量が五尺にも及ぶ札幌。この街で「快適な冬の暮らし」を実現するためには、一人ひとりが守るべきルールがあります。しかし、近年、ルールが守られないことが多いのも事実です。

これから本格的な冬を迎えます。下のイラストにあるように、市の取り組みと皆さんのマナーある行動とが相まって冬の札幌を支えているのです。互いに力を合わせて実行していきましょう。

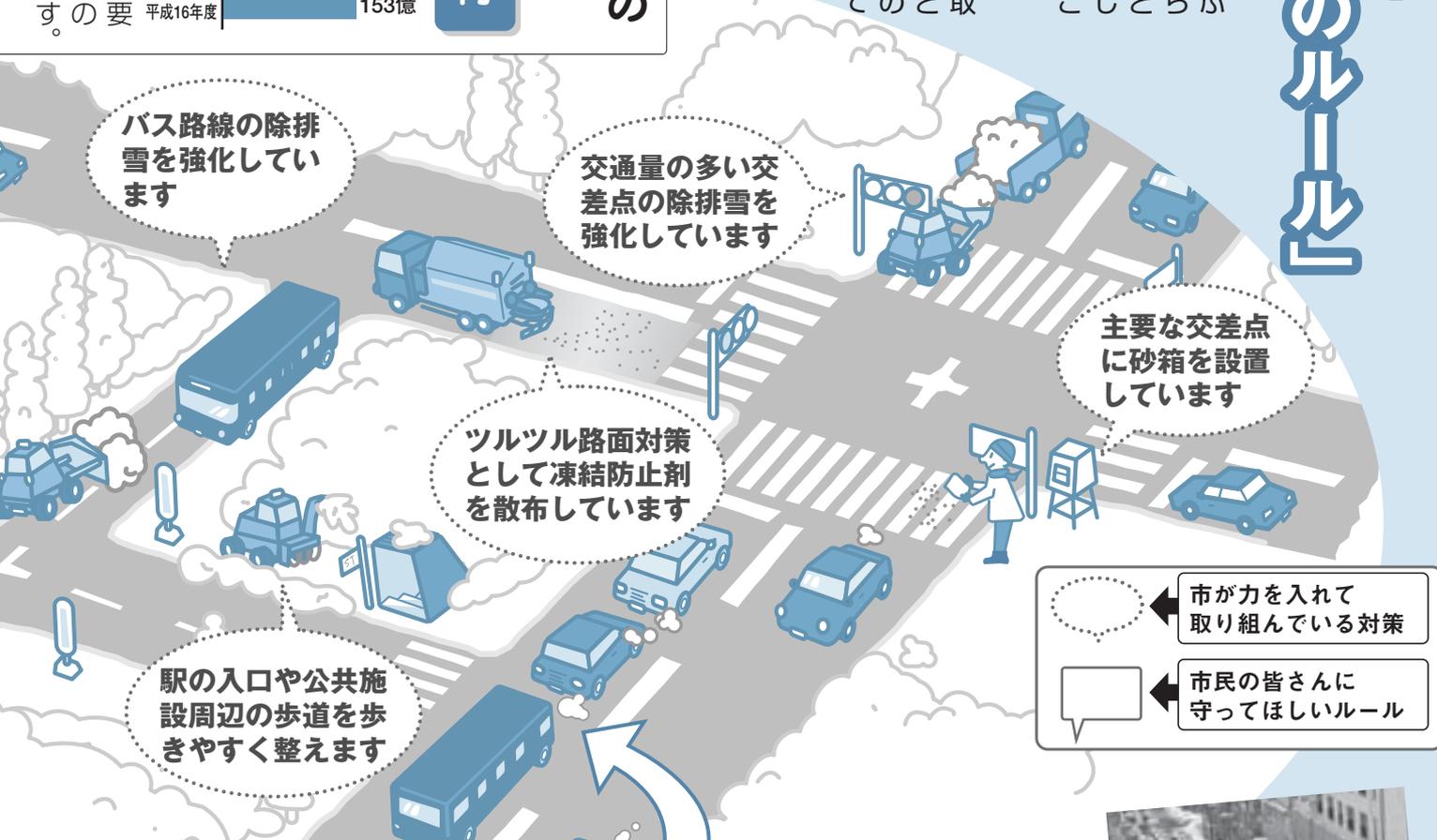
雪対策にはどれくらいのお金が掛かるんだろう？

今年度の予算は **153** 億円

雪対策予算の推移



今年度の雪対策関連の予算は百五十三億円。平成元年度は七十三億円だったので、この十五年間で約二倍に増えています。今年度の予算のうち、百十五億円が道路の除排雪に要する費用、三十八億円が融雪槽などの施設設備に要する費用となっています。



街の渋滞をつくっているのは誰？

「冬になるとバスが遅れて……」。寒さが厳しさを増すにつれ、こうした声を耳にしませんか。

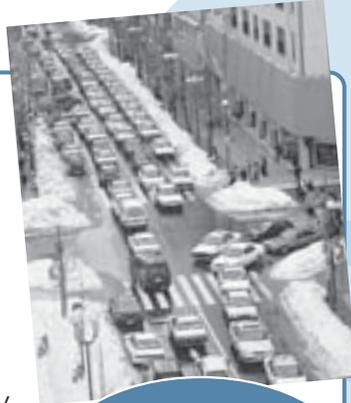
雪の降った朝の渋滞。誰もがいらいらした経験があるかと思います。でも思い出してみてください。渋滞をつくり出している車の大部分は市民の皆さんのマイカーなのではないでしょうか。

冬道の運転は注意深くなるので車の速度は極端に遅くなります。そうした中、夏と同じ数の車が路上にあふれたら、渋滞しない訳がありません。

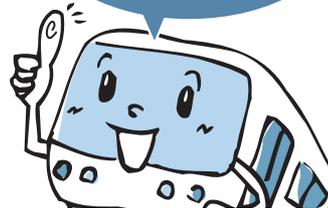
もっと公共交通機関を利用しよう

冬道といえども、通勤や通学で、また、高齢の方も利用するバスや、緊急車両などの走行は優先的に確保する必要があります。また、渋滞車両の排気ガスなどによる環境汚染も深刻な課題です。

特に冬の間は、渋滞を解消する意味からも、車に頼らざるを得ない方を除き、できる限りマイカーの使用を控え、公共交通機関を利用する——そんな生活スタイルを市は提案します。



みんなもっと公共交通機関を使ってね。



高齢の方や身体に障がいのある方に優しい福祉除雪